

みずほCustomer Desk Report 2017/10/03 号(As of 2017/10/02)

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】					公示仲値	112.79
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	112.66	1.1806	133.05	0.9685	1.3386	0.7842
SYD-NY High	113.06	1.1815	133.06	0.9755	1.3402	0.7847
SYD-NY Low	112.49	1.1730	132.20	0.9682	1.3257	0.7795
NY 5:00 PM	112.76	1.1731	132.27	0.9748	1.3277	0.7826
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			9.635/10.035	△25RR	1.690	Yen Call Over
NY DOW	22,557.60	152.51	債券市場	日本2年債	-0.1040	1.7bp
NASDAQ	6,516.72	20.76		日本10年債	0.0750	0.7bp
S&P	2,529.12	9.76		米国2年債	1.4828	0.0bp
日経平均	20,400.78	44.50		米国5年債	1.9344	▲0.2bp
TOPIX	1,673.62	▲ 1.13		米国10年債	2.3408	0.7bp
シカゴ日経先物	20,500.00	115.00		独10年債	0.4510	▲1.3bp
ロンドンFT	7,438.84	66.08		英10年債	1.3280	▲3.7bp
DAX	12,902.65	73.79		豪10年債	2.8390	-
ハンセン指数	-	-	為替市況	USD/CNH	6.6729	0.0261
上海総合	-	-		ドルインデックス	93.56	0.48
USDJPY 3M Vol	9.62	▲0.19%	商品市況	CRB指数	180.909	▲2.18
USDJPY 6M Vol	9.62	▲0.24%		NY金	1,275.80	▲9.00
EURJPY 3M Vol	9.60	▲0.14%		WTI	50.58	▲1.09
EURJPY 6M Vol	9.77	▲0.17%		Dubai Spot	55.12	▲0.70

東京	朝方に発表された日銀短観では、大企業製造業の業況判断指数が4期連続での改善となった他、売上高経常利益率も過去最高水準となるなど総じて良好な内容となったものの、市場の反応は限定的。朝方はオーストラリア休日となったことでやや流動性の薄い時間帯も見られる中でこの日の安値となる112.49をつけ、東京時間のドル円は112.66レベルでオープン。東京時間入り後は本邦実需勢による期初特有のフローも散見される中、ドル円は112円台後半まで上昇。その後も112円台後半での底堅い推移が続くも、113円台を試す展開には至らず、結局112.91レベルでクロスした。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、112.91レベルでオープン。仏9月マークイット製造業PMI確報値が56.1と前月の55.8から上昇し、2011年4月以来約6年半ぶりの高水準となったものの、500人以上が負傷した米ラスベガスでの銃乱射事件や、カタルーニャ州独立問題を巡るスペイン政情不安等が意識される中、112.75まで反回回避的に売られ、112.84レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3359レベルでオープン。英中銀が「英国に本拠を置く銀行について、破綻時に納税者を守る規則を順守するため、2022年までに40億ポンド相当のヘイルイン適格負債を準備する必要性を示したことで、ポンドが売られる展開。1.3288レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1765レベルでオープン。スペイン中央政府が「カタルーニャ自治州に対し、独立を宣言すれば自治権を停止すると発信すると、対立の激化を懸念し、スペイン国債の対独利回りスプレッドが約40月ぶりの高水準付近に拡大。同州独立派の指導者らは、週内にも一方的に独立を宣言する構えを見せていることから、ユーロロングの手仕舞いが加速し1.1730まで売られ、1.1739レベルでNYに渡った。(ロンドントリー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	週末のスペイン・カタルーニャ州の独立を問う住民投票で約90%が独立を支持したことが明らかになったことから、海外市場でユーロドルが下落する中でドル買い優勢地合いとなりドル円は113.06まで上昇するが、ユーロ円も下落する中では一段の上昇とはならず112.84レベルでNYオープン。朝方は米金利が低下する動きに、ドル売り優勢となりドル円は112.54まで下落。しかし、米9月ISM製造業景況指数が新規受注等の改善などを背景に予想を上回り、ハリケーンの影響も限定的だったことから112.94まで急伸。その後は利益確定の売りが持ち込まれ、112.54-76での狭いレンジでの推移が続く。午後に入り、カプラン・ダラス連銀総裁(投票権有/中立派)の「12月に利上げすべきかどうかまだ決めていない」との発言が伝わるものの、ドル円の反応は限定的となり、週末の米9月雇用統計や来週から本格化する米企業決算発表を控え、狭いレンジでの推移が続く。112.76レベルでクロスした。一方、ユーロドルはカタルーニャ州の住民投票結果を受けた政局不安から売りが強まり、一時1.1730まで下落し1.1739レベルでNYオープン。朝方はドル売りが優勢となったことから1.1763まで戻すものの、米ISM製造業景況指数の結果を受けたドル買いに1.1734まで再び反落する。その後一旦買い戻される局面もあったものの、上値は重く1.1731まで下落。その後は1.1740付近での狭いレンジでの推移が継続し、1.1731レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:山本・鶴田

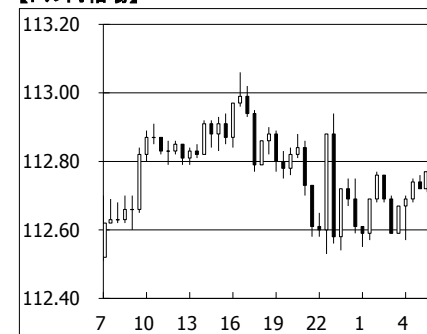
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月2日	8:50	日銀短観	9月	-
	16:50	仏	9月	56.0
	16:55	独	9月	60.6
	17:00	欧	9月	58.1
	18:00	欧	8月	9.1%
	22:45	米	9月	53.1
	23:00	米	9月	60.8
10月3日	3:00	米	-	-

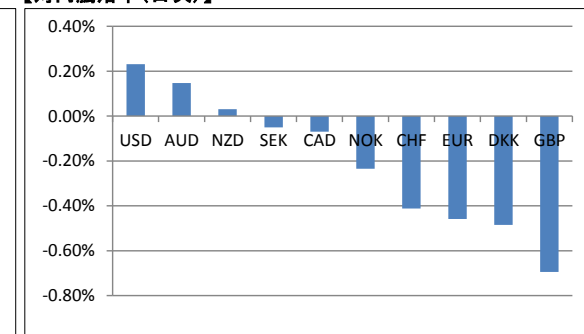
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月3日	9:30	豪	8月	1.0%/-17.2%
	12:30	豪	-	1.50%
	18:00	欧	8月	0.1%/2.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.20-113.20	1.1700-1.1800	132.00-133.00

【マーケット・インプレッション】

先週末の海外市場でのドル/円相場は、方向感に欠ける展開となった。欧州時間序盤は本邦衆院選に関して、野党の足並みが揃わず、与党有利の見方からドル/円は113.06円までじり高。しかし、米金利が低下する流れに上値が抑えられると、ポンド/円やユーロ/円等の軟調推移にドル/円もつれ安となると112円台後半まで押し戻された。良好な米9月ISM製造業景況指数に113円手前まで買われるも、カシュカリ・ミナポリス連銀総裁のハト派発言に112円台後半まで再度反落した。本日のドル/円相場は揉み合いを予想する。週末に米雇用統計を控えており、今次指標へのハリケーンの影響を見極めたいとの向きも多く、基本的の様子見ムードの相場付きとなりそうだ。